

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日	平成 29 年 5 月 30 日		
所属学部・研究科	経済学部／研究科 3年次 (留学開始時点)			
留学先大学	フィリピン大学 (国名: フィリピン)			
所属学部・学科等名	経済学部			
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成 28 年 7 月 28 日 ~ 平成 29 年 5 月 26 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: 学生ビザ			
	ビザ申請先: フィリピン大学のオフィス			
	取得方法, 提出書類: パスポートをオフィスに提出すれば, 手続きをすべてやってくれる。			
	手続きに要した日数: 約一か月			
その他必要な事前手続き	基本的には出国前に30日のビザを取ることをお勧めされるが, 取得しなくても問題なし。			
出国年月日	平成28年 7月28日			
経路	関西空港 → マニラ			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	オリエンテーションは半日ほど。特別に何か重要なことを話す場ではないので, 交換留学生で自国の大学でのテストがまだある場合は参加しない生徒もいる。			
帰国年月日	平成29年 5月26日			
経路	マニラ → 関西空港			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	720,000	円	
	内訳	渡航費	80,000	円
		保険料	100,000	円
		教科書代(学費)	10,000	円
		宿舍費	80,000	円
		食費	300,000	円
		その他 (交際費)	100,000	円
(旅行費)	50,000	円		
(費)		円		

3. 授業について	
2016年 1学期	8月 5日 ~ 12月 16日
2017年 2学期	1月 10日 ~ 5月 19日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	言語は英語がメインであるが、ほとんどすべての授業でフィリピンの言語のひとつである、タガログ語も同時に使われる。
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	先生によってどの程度英語を使ってくれるかは違うし、それがその授業を受けるまでわからないし、また授業によってはだんだんタガログ語がメインになったりするので気を付けて、また臨機応変に取ってください。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()
住居の広さ	約 m ² 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (3人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
住居費	1ヶ月当たり 3000ペソ(現地通貨) 約 8000円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	シャワーのお湯は出ません。水しか出ません。台所也没有。部屋ではゴキブリもよく出るので気を付けてください。また、暑いので現地で扇風機をみんな買います。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 100,000 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 (広島大学で加入した保険)
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:

留学先国の医療事情 (日本と比較して)	行ってないのでわからない。	
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	水道水は飲みません。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
夜は基本的にひとりで歩くなど言われます。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 30年 3月 (当初の卒業予定年月 平成 30年 3月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	これから就職活動をしようと考えています。希望通りに決まれば卒業しようと考えています。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	日本にいる間にできるだけたくさんの単位を取っておくことが重要だと思います。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		

学習の概要に関するレポート

授業で日本と大きく違う所は授業の履修のやり方と授業中の言語です。履修のやり方はインターネットではなく、各棟に行き履修担当スタッフがいるところに行き、並んで履修をするという形です。例えば、経済学部を履修すれば経済学部の棟に行き履修を行う教室を探します。そこに履修担当の先生もしくは生徒がいるので自分の履修したい科目を言い、履修をしてもらいます。定員があるのでオーバーしていたら取れません。特に大変なものは、Palma hall という所で履修が行われる授業の多くが人気な授業や、一般学生にとって必修の科目です。なので、前の晩や朝の五時ごろから並ばないと、取れない授業もあるのでしっかり確認することをお勧めします。でも多くの授業の場合は、履修登録が行われている教室に行き、自分が交換留学生だとすれば優先されます。フィリピンの大学の場合、一度断られたり拒否されたりしても何度も交渉したり強く要求したりすると、通る場合が多くあるので、貪欲に行くことがいいと思います。

授業中の言語は英語が基本です。しかし、多くのフィリピン人にとって英語は母国語ではありません。先生も同じです。なので、授業によってどの程度英語が使われるかは違います。ある授業では八割程度、フィリピンの言語のひとつであるタガログ語が使われます。私の取っていた授業でもすべて英語で行われる授業はありませんでした。もちろん、先生の中でも外国人がいるので授業に支障がないほどにタガログ語を使う人もいますが、先生によっては最初の授業で英語はメインで使わないという先生もいますし、徐々に英語を話す頻度が減っていく先生もいますし、取ってみたいとわからない場合が多いです。授業開始して最初の週なら変更が可能なので臨機応変に対応することが求められます。なので英語の上達が目的でフィリピン大学に行く学生にとって最初は戸惑いがあるかもしれませんが、上達はすると思うので辛抱強く頑張らないといけないうところですよ。

多くの授業は週二回、合計週三時間あります。しかも日本に比べて宿題が多いので一科目がとても重たいです。交換留学生には3コマから4コマの履修をお勧めされますが、それだけでは時間があまりありません。なので、それよりも多くとり、さらに落としてもいいようにもう少し取ることが私はよかったです。

また日本人交換留学生はボランティアや開発支援などに興味を持つ人も多く、授業以外の活動に授業よりも力を入れる学生もいます。興味があればそういうのにも参加するのもいいと思います。

生活の概要に関するレポート

私は多くの交換留学生が住む寮に住みました。もともとインターナショナルセンターという所に交換留学生や外国人学生は住んでいましたが、私が住んでいたころはそこが改装工事中で住むことができず多くの学生がアカシアという寮に住んでいました。多くの留学生がそこに住んでいます。そこは多くのフィリピン人の学生も住んでいるところなのでフィリピン人の友達を作るには簡単です。さらに場所もすごくいいところにあり授業に行くにも問題ないですし、食事をとるところもすぐ近くにあり。なので、すごくいいところですよ。しかし、寮にはキッチンはないですし、シャワーも水しかありません。これはフィリピンの文化なのかもしれませんが、寮のマネージャーはすごく偉そうで、お金の取り方も平等ではありません。例えば、寮長の独断で韓国人だけに内緒で多く寮費を払わせたりと、日本では納得できなかったり、許されないこともよくあります。

盗難には特に注意を払いました。私はなかったですけど、友達の数人は電車でケータイを盗まれていました。外国人が盗難にあうことは頻繁にあることらしいので、常に注意していくことが重要でした。